

ちょこつとマーケット

(先進国国債利回り・為替)

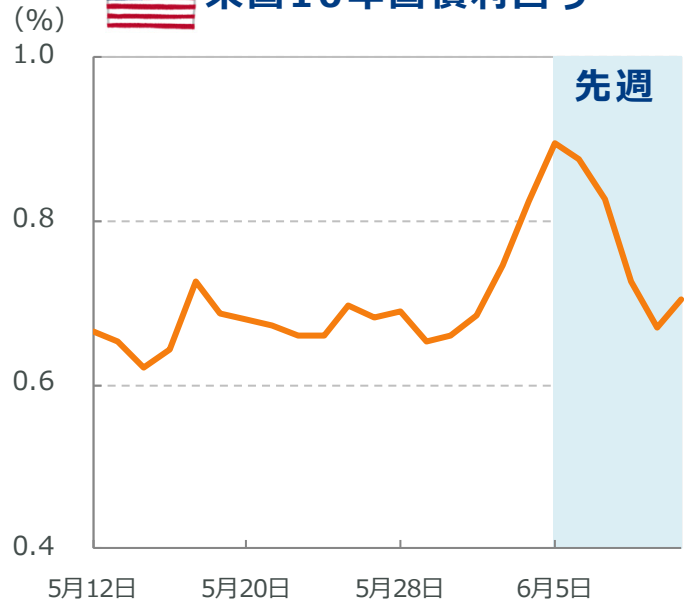
POINT 先進国国債利回り

【2020年6月8日～2020年6月12日】

米国10年国債の利回りは急低下

- ◆米連邦準備制度理事会（FRB）は2022年末までゼロ金利政策を維持すると表明し、緩和的な金融政策が長期化するとの見方が強まったことから、安全資産とされる米国10年国債や日本10年国債の買いが優勢となりました。
- ◆新型コロナウイルスの感染「第2波」による米景気への影響が懸念されたことも、国債の買いにつながりました。

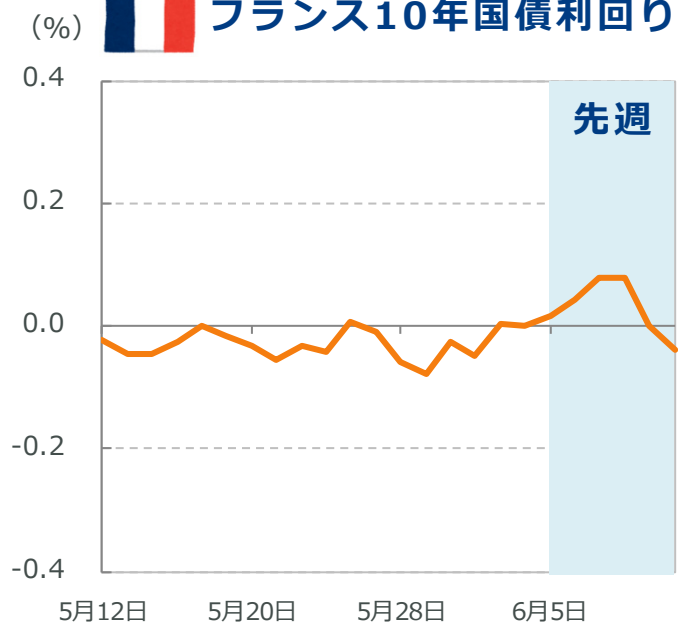
 米国10年国債利回り



 日本10年国債利回り



 フランス10年国債利回り



(注) データは2020年5月12日から2020年6月12日（日次）。

(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

ちょこつとマーケット

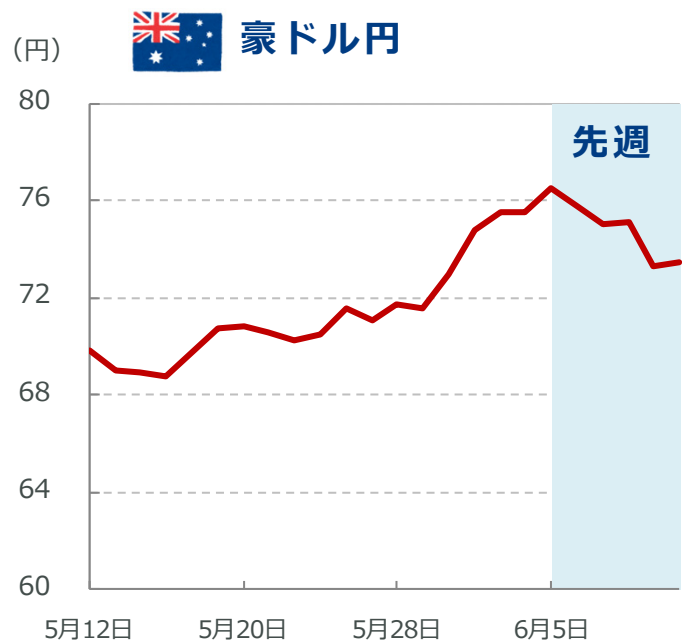
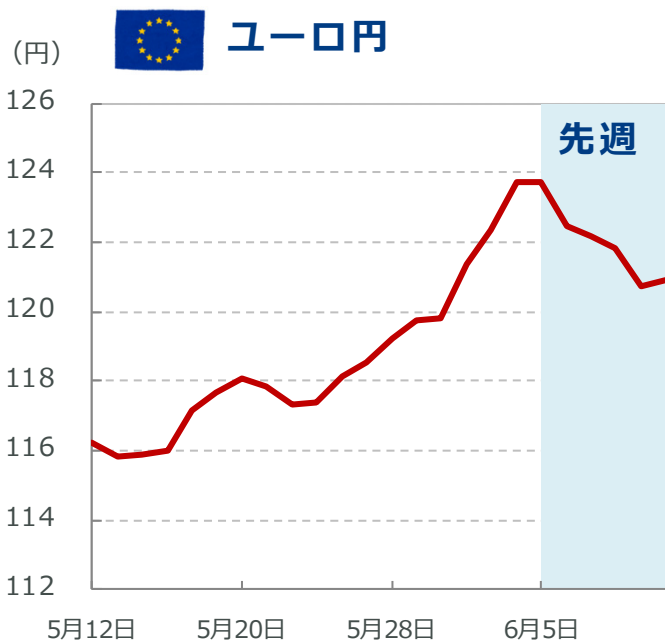
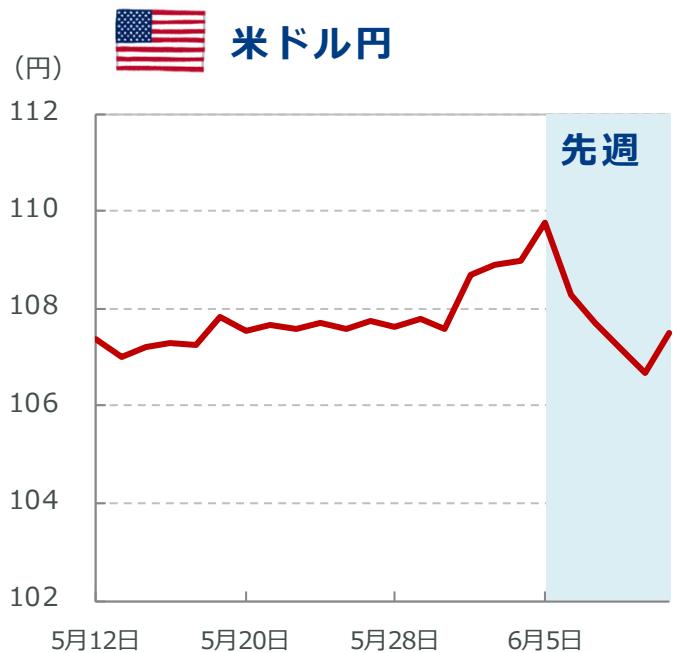
(先進国国債利回り・為替)

POINT 為替

【2020年6月8日～2020年6月12日】

円は主要通貨に対して全面高

- ◆米長期金利の低下を受けて米ドルは主要通貨に対して安くなりました。週後半には、米国株式の下落によって市場のリスク回避姿勢が強まり、安全資産とされる円が買われたことから、円の全面高となりました。
- ◆欧州の株式相場も景気回復に対する懸念から週間で下落し、ユーロも対円で大きく下落しました。



(注) データは2020年5月12日から2020年6月12日 (日次)。

(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成